

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
 例 会 日 毎週月曜日 12:30~
 例会場所 シェラトン都ホテル大阪
 事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
 〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
 TEL. 06 (6772) 2320
 FAX. 06 (6772) 2327
 E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会 長 佐 藤 三千秋
 会長ノミニー 百 済 洋 一
 副 会 長 和田栗 一 良
 幹 事 大 畑 齊
 会報委員長 宮 崎 康 治

MAKE DREAMS REAL

夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D.K.リー

第 1701 回例会 平成 20 年 10 月 12 日 (日曜日) 第 1 2 号

本日の例会

10月12日(日) 第2例会

◎移動例会

◎秋の家族会 和歌山県美浜町
(地引き網体験)

◎10月20日(月) 上記の振替休会

来週の例会

10月27日(月) 第3例会

◎卓 話 「イタリア帰国報告」

ゲストスピーカー
 ロータリー財団国際親善奨学生
 杉山 博昭様

◎本日の献立 松花堂弁当

先週の例会記録

10月6日(月) 第1例会

◎ビジター 大阪東RC 田中経久氏

◎ゲスト

八尾東RC ガバナー補佐エレクト 鈴木 洋氏
 国際親善奨学生 杉山博昭君

会 長 挨拶

会長 佐藤三千秋

本日はゲストスピーカーとして、地区米山奨学
 委員会委員の青木様、また、ゲストとしてIM4

組ガバナー補佐エレクトの鈴木様、また、ビジターの皆様を含めて、多数の方々が当クラブの例会にご出席頂き、誠にありがとうございます。時間の許すかぎり楽しくご歓談下さいませ。

さて、10月4日(土)の東大阪みどりRCの創立10周年記念式典に当クラブを代表して、大畑幹事と私がお祝いにお出席させて頂きました。

当日の夕刻、KKRホテルにて5時半から約1時間半の記念式典、それに引き続き祝宴が2時間と、約3時間半という時間でしたが、横山ガバナーはじめ、IM4組の会長、幹事、姉妹クラブの台湾台中東海RCから24名の出席、親クラブの東大阪東RCのメンバーの方々の多数をご招待され、(約170~180名の出席でしょうか)時間が感じられなかった程、内容良くスムーズに進行し、皆が力を合せよく準備された立派な記念式典でありました。

行事及び挨拶の中で、この10年間の活動の一部、アジア、アフリカ諸国の困っている国へのWCSプロジェクト、特に台湾の姉妹クラブとのカンボジアへのマッチンググラント支援、また、10周年記念行事として、この7月には「すばらしい家族づくり」と題する教育講演会を開催され、クラブ

活動をしっかりつみ重ねてこられた実績報告がありました。会員数は現在32名だそうです、そうとは思われないほど多彩で立派なクラブ活動をされていると感じました。

その中でご報告しておくべきことがあります。東大阪みどりRCの今回の記念行事实行委員長でチャーターメンバーでもあった味岡 寛様が、楽しみにされていた式典の直前、2週間前に急遽ご逝去され、式典の中で味岡さんへの感謝状贈呈、また生前準備されていた実行委員長としての挨拶文が代読されました。味岡様のご冥福をお祈り致します。味岡様はロータリー活動に熱心なロータリアンと存じ上げていましたし、みどりRCにとっても大きな痛手だと思いますが、東大阪みどりRCの皆様は次の20周年に向かってロータリーの奉仕の理想を追い求めると力強い言葉がありましたことをご報告致します。

尚、味岡様の訃報は土、日だったのでしょうか？正式に当クラブには連絡がなく、特別に親しかった出原会員、瀧田会員にあって、お悔みにご出席して頂きました。このことについてもご報告させていただきます。

幹事報告

幹事 大畑 齊

1. 本日例会後、第3回クラブ協議会開催に当たり、理事、役員、各委員会委員長各位、及び入会5年未満の方はご出席の程、宜しく御願い致します。理事会開催は、クラブ協議会後開催致します。
2. 回覧しております地区大会の12日(金)の分科会、「新入会員研修部門」に、入会2年未満の会員各位は、必ず出席ください。
3. 次回例会は10月27日(月)例会場は3階、志摩の間です。ご確認お願い致します。
4. 小冊子「職業奉仕の心」と、米山記念奨学会より「豆辞典」を、ポストに配布していますのでご一読下さい。
5. 地区より、岩手・宮城内陸地震災害義援金、3,164,034円の送金お知らせとお礼状が来ています。

出席報告

金子委員

本日の会員数	44名
本日の出席者数	34名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	85.00%
9月22日の修正出席率	87.18%

SAAニコニコ箱報告

松浦副SAA

大畑幹事 もうすぐ紅葉の刻になります。頑張ってください。宜しく。

金子(誠)会員 米山月間です。よろしくお祈りします。

和田栗会員 家内と二人になりました。

中村会員 秋の家族会、参加出来ません。岩崎委員長、スママセン。

鈴木会員 月初です。

森 会員 本日、協議会欠席。10/27例会、RI検査の為欠席のお詫び。

松岡会員 移動例会欠席のお詫び。

青木達也様 地区米山奨学委員会委員(大阪西南RC) 米山卓話をさせていただきます。よろしくお祈りします。

◎10月のお祝

入会記念日 西田 藤原 切石 松岡 岩橋 (各会員)

会員誕生日 西田 岡田 金子(勝) 大石 (各会員)

夫人誕生日 有江純子様 岩崎カヅ様

結婚記念日 安藤 尾崎 浅野 (各会員)

創業記念日 尾崎 楨 鈴木 小川 (各会員)

○9月の内祝ニコニコ 累計 490,000円

○9月のニコニコ箱 96,000円

累計 333,000円

○9月の米山BOX 16,499円

累計 31,274円

卓 話

「米山月間に因んで」

地区米山奨学委員会 委員 青木 達也様

平素は米山奨学事業に格別なご高配を賜り、ありがとうございます。本日は米山月間に因んでということで卓話をさせていただきます。

まず、去る7月26日、当地区米山奨学委員長、カウンセラー研修会のグループ別討論会において問題になりました点につき、地区委員会としての見解を報告したいと思います。

①中国以外の留学生をもっと採用すべきではないか！

全国留学生の62%が、また、応募者も過半数が中国籍だからやむを得ないかもしれません。全国的に同じ問題が浮上し、2660地区においても大学から推薦された応募者のうち中国留学生は確かに50%以上です。しかし現実の合格率をみますと、数年前までは合格率が50%を超えていたのが、最近では32-39%に低下しています。今後とも再検討する予定であります。

②寄付金がどのように使われているか詳細を知りたい！

財団法人としての基本財産が50億円、特別積立金が27億円。ロータリアンによる年間寄付額が14億5千万円。寄付金、利息、繰越金等の年間総収入の74%が奨学金、残りは積立金、事務費および繰越金です。財団法人としての基本財産には手をつけることができません。そのためなんらかの原因で年間寄付が減少して採用中の奨学生に奨学金支給ができなくなる事態を考え、従来から予備費としての特別積立金があります。年間寄付額の減少により6年前に数年間、この特別積立金を取崩しましたので、昨年度は1億5千万円をこれに補填しました。詳細につきましては米山奨学会評議委員会の収支報告書を米山委員長に配布済みですので、それを参照して下さい。

2660地区の昨年度総寄付額は約8,000万円、一昨年度は8,000万円を割り込んでおりましたので、皆様のご寄付が昨年度は若干増えたということになります。ご協力ありがとうございます。額から

いけば全国第3位ですが、個人平均寄付額は19,727円で全国第7位です。この総寄付額と個人平均寄付額によって、地区への奨学生配分人数が決まりますので、奨学生割当人数を減らさないためにも地区としては少なくとも年間8千万円の寄付が望ましいこととなります。

2660地区の奨学生配分人数は2008年度は39名です。普通寄付は一人年間5,000円ということになっていますが、現実には地区内RCで5,500円以上が19クラブ、5,000円が54クラブ、5,000円未満が11クラブで、寄付形態はクラブにより様々です。個人平均寄付額の地区目標は2万円あります。東大阪中央RCの昨年度寄付金は地区内第51位、一人当たりの寄付金額が17,765円となっており、地区目標額を少し下回っております。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

③奨学生が終了したあと、連絡をとれるようになるにはどうすればよいか？

この点に関しての地区委員会の考えは次の通りです。「あんなに世話したのに、終了したらなんにも言ってこない」これは世話クラブからよく聞く苦情です。この不満は日本人の風俗・習慣からくる「施し」の精神ではないでしょうか。例えば奨学生を食事に招待したとします。奨学生はその日に「ご馳走様でした」というでしょう。しかしその次に会ったとき「先日はご馳走になりました」と礼を述べる習慣は他国にはありません。それは食事の催促になるからです。ですから、奨学期間が終了したときに、「お世話になりました」といえば、彼ら彼女らはそれで一旦お礼は済んだと思っています。その後連絡がなかったからといって、学友たちが感謝していないかという、決してそんなことはありません。

事例；

- 1) 最近中国の元米山奨学生（姫軍氏 1995-1997年、東大、東京臨海RC）が「在学中米山奨学金で大変お世話になった恩に報いたい、それを次の世代にも伝えたい」と考え米山奨学会に50万円寄付し、できれば今後毎年続けたいと申し出ました。
- 2) 34年前に当地区で奨学生だった学友（台湾）

が米山奨学金を受けたことに30年間感謝し続け、昨年カウンセラー、世話クラブの人に会いたいという連絡が入りました。当時のカウンセラーは3名とも故人であり、現在のロータリアン5名が台北まで会いにいき、固い握手を交わし親交を温めました。

3) 7年前に世話した奨学生とロータリアンが積極的に連絡をとり、久しぶりに食事をしたところ、「現在あるのは、あの時奨学金を頂いたお陰であり、生涯このご恩を忘れることができません」と涙ながらに語った例もあります。

(以上事例2-3は大阪・淀川RCの経験)

学友の追跡調査は校友会をとおして実施しています。しかし大学は個人情報を守るため容易に所属・住所を教えてくれませんので、困難を極めています。したがって、地区委員会としては、上記のような事例を示すことによって、奨学期間中にカウンセラーおよびクラブ全体が奨学生と堅い絆を築き、奨学期間終了後もせめて年賀状交換ができる間柄になって欲しいという見解を発表しました。学友は奨学期間が終わり、それなりの地位につき、社会的、経済的に落ち着いた人生を送るようになると、米山奨学金への感謝の念を思いだすのではないのでしょうか。それまでは、世話クラブやカウンセラーに感謝の気持ちを表す場も機会もないのです。学友がどんな人生を送っているか、こちらから積極的にアプローチすることが世話した人の責務であり、それにはカウンセラーの情熱に頼る以外にないと思います。社会奉仕、国際社会奉仕で資金を渡した後、現地に行って、援助がどのように実現しているかを知ることが期待されているのと同じことです。

今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

2008～2009年度第4回定例理事役員会議事録

日時 平成20年10月6日(月)協議会後
場所 シェラトン都ホテル大阪 三笠の間
出席理事 佐藤三千秋、百濟洋一、和田栗一良
(敬称略) 大畑 齊、宮田照男、福岡康民、

鈴木勝俊、三木武志、榎 啓一(欠)、
細川勝治、中村與志夫、岩崎史郎

計11名

決議事項

1. 東輪会合同例会(11月10日・月)の件 承認
 - ・ガバナーからの要望 卓話時間45分間
 - ・卓話テーマ 未定(10月中頃連絡頂く)
 - ・司会 浅野光男 実行副委員長
 - ・ホテルとの打合せ日程 今週中11日までに。
2. 家族会(10月12日・日)の件 承認
 会員11名、夫人9名 合計 20名
3. 東輪会ゴルフ(10月21日・火)の件 承認

東大阪RC	14名
東大阪東RC	11名
東大阪西RC	10名
東大阪みどりRC	8名
東大阪中央RC	13名
	<u>合計 56名</u>
4. 献血奉仕活動の件 承認
 日程 2009年4月16日(木)
 献血卓話 2009年4月13日(月)
5. その他
 - ・ロータリー財団・『新ポリオプラス募金活動』寄付の件 承認
 認証はクラブポイントとする。
 - ・『2010年規定審議会』へのクラブ立法案の件 継続審議
 - ・帰国子女への支援(中国)説明(主旨)

